令和2年発行　令和5年一部修正

川西市防災マップ

（ハザードマップ）　KAWANISHI CITY Hazard Map

川西市防災マップ（web 版）
・パソコン、スマートフォン等で閲覧可
・印刷機能有
https://bousai.city.kawanishi.hyogo.jp/hazardMap/flow_01.html

マイ避難カード

名前

確　認！	判断材料の入手	（何が危険？大雨や台風の時に何を確認？）
い　つ！	逃　げ　時	（何がどうなったら？）
どこに！	避　難　先	（どこに？どのルートで？）
	昼（明るい時）	
	夜（暗い時）	
どのように？	避難する方法	（だれと？歩いて？車で？）
	昼（明るい時）	
	夜（暗い時）	

緊急時の連絡先

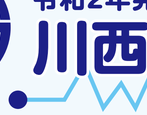
機　関	電話番号	家族の連絡先やかかりつけ病院など、必要な連絡先
川西市役所	072-740-1111	
消防	119	
救急医療・災害情報テレホン案内	072-759-1234	
警察	110	
関西電力送配電（停電の問い合わせ）	0800-777-3081	
大阪ガス（ガスもれ通報専用電話）	0120-7-19424	

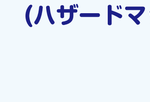
① 災害時の緊急情報などの入手方法

川西市では、以下の複数の手段を用いて災害時に緊急情報等を伝達します。
情報を入手するには、事前に登録するもの、自分で情報を入手するものなどがあります。
事前に確認しておきましょう。

防災行政無線屋外スピーカー

緊急地震速報、避難情報等の緊急情報を市全域に伝達するため、市内 25 箇所に屋外スピーカーを設置しています。
また、毎月 17 日 17 時には定期試験放送を行うほか、自主防災組織による訓練放送などを実施します。


全方位型スピーカー


トランペット型スピーカー

テレホンサービス
0120-367-889（みんな　はやく）
※　フリーダイヤル無料。
050 で始まる IP 電話は
072-740-0190（有料）へ

屋外スピーカーの位置は　川西市防災マップ（地図面）　をチェック！

かわにし安心ネット・ひょうご防災ネット

災害に関する緊急情報（避難情報、気象警報、地震速報（震度４以上））をメール・アプリでお知らせします。

【登録方法】
右の２次元コードから登録いただくか
kawanishi@bosai.net に空メールを送信し、登録手続きを行ってください。

メール　アプリ

エリアメール・緊急速報メール

携帯電話事業者のサービスで、エリア内にある対応機種の携帯電話やスマートフォン等に、緊急地震速報、洪水情報、避難情報等の緊急情報などを配信します。
事前登録は不要です。対応機種については お買い上げの販売店に問い合わせてください。

災害時応援協定に基づく情報配信

●Ｊ：ＣＯＭチャンネル
●ヤフーホームページ、防災速報アプリ
●一庫ダム放流警報設備

その他の防災情報

市ホームページ　広報車
市公式 Facebook ページ　テレビ・ラジオ

台風・大雨の時はテレビ（データ放送）を確認

インターネットで入手できる情報

dボタンで確認できる事項
メニューをたどり、防災情報ページへ
避難情報　台風情報
避難所開設情報　雨量・水位
警報・注意報

放送局によって操作画面や情報が異なります。操作方法を確認しておきましょう。

川西市ホームページ
（市の防災情報、避難情報・雨量等）
https://www.city.kawanishi.hyogo.jp

Yahoo! 防災速報アプリ
（市の防災情報、避難情報等）
https://emg.yahoo.co.jp/

川西市公式 Facebook ページ
（市の防災情報、避難情報等）
https://www.facebook.com/city.kawanishi/

兵庫県ＣＧハザードマップ
（災害危険箇所、防災学習等）
http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/

国土交通省「川の防災情報」
（河川水位・雨量等）
https://www.river.go.jp/index

気象庁ホームページ
（気象情報、台風情報等）
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

② 地震に備える

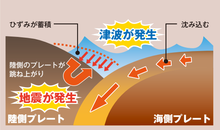
川西市における地震被害想定の概要

文部科学省所管の地震調査研究推進本部の発表によると、南海トラフ巨大地震が発生する確率は、今後 30 年以内に 80%の確率とされています。兵庫県が発表した被害想定では、川西市においても、震度５強から震度６弱のゆれを観測すると想定されています。

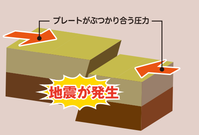
また、川西市及びその周辺には活断層が多数存在しており、阪神・淡路大震災同様の直下型地震により、最大震度７のゆれを観測する可能性があります。

※ 兵庫県津波浸水想定区域図によると、川西市に津波による直接の被害は想定されていません。

海溝型地震



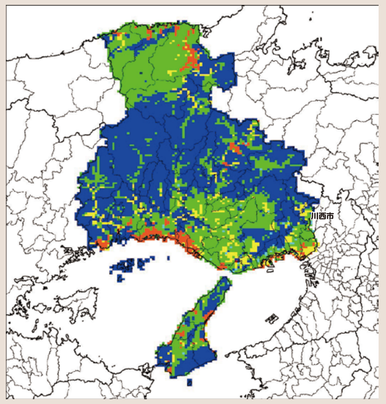
内陸型地震



表層地盤のゆれやすさマップ

地震はマグニチュードが大きいほど、震源から近いほど地震によるゆれは大きくなります。しかし、マグニチュードや震源からの距離が同じでも、表層地盤がやわらかい場所では、硬い場所に比べゆれは大きくなります。
一般的に、川の近くでは地盤がやわらかい傾向があります。

右の図は、兵庫県の「表層地盤のゆれやすさ」を示しています。
川西市では、山岳地帯の北部はゆれにくく、その他の地区ではゆれやすい結果となっています。



計測震度増分	色	
1.0 ～ 1.65		ゆれやすい
0.8 ～ 1.0		
0.6 ～ 0.8		
0.4 ～ 0.6		
0.2 ～ 0.4		
0.0 ～ 0.2		
-0.95 ～ 0.0		ゆれにくい

震度とゆれ

震度とゆれ等の状況（概要）

震度階級	状　況	震度階級	状　況
4	ほとんどの人が驚く。 電灯などのつり下げ物は大きくゆれる。 扉うの悪い置物が、倒れることがある。	6弱	立っていることが困難になる。 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
5弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 棚にある食器類や書棚の本が落ちることがある。 固定していない家具が移動することがあり、 不安定なものは倒れることがある。	6強	はわないと歩くことができない。飛ばされることもある。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
5強	物につかまらないと歩くことが難しい。 棚にある食器類や書棚の本で落ちるものが多くなる。 固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。	7	耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造りの建物では、倒れるものが多くなる。

地震発生時の行動

緊急地震速報

地震が発生し、その地震が最大震度５弱以上だと予想した際、震度４以上のゆれを観測すると予想した地域に対し、緊急地震速報が発表されます。

緊急地震速報を見聞きしたら
地震のゆれを感じたら
まず、命を守る行動を！

「まず低く」「頭を守り」「動かない」

一時避難場所などの安全な場所へ避難

余震等に注意しながら、非常持ち出し品を持って地域の一時避難場所などの安全な場所に避難しましょう。
その際、火災防止対策のためブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。

非常持ち出し品　4 をチェック！
一時避難場所　5 をチェック！

避難所へ避難

自宅が被災した、危険であると判断した際には、避難所へ避難しましょう。

避難の際は、地域で声をかけあい、助け合いましょう。

避難所　川西市防災マップ（地図面）　をチェック！

災害用伝言ダイヤル（NTT）

伝言の録音	1 7 1	▶	1	▶	被災地の人の電話番号（市外局番から）	▶ 伝言を録音（30 秒以内）
伝言の再生	1 7 1	▶	2	▶	被災地の人の電話番号（市外局番から）	▶ 伝言を再生

※音声ガイダンスにしたがって利用してください。

携帯電話の災害用伝言板

携帯電話各社のメニューから「災害用伝言板」を開く。
▶ 伝言を登録する場合：「登録」を選択して伝言を入力
▶ 伝言を確認する場合：「確認」を選択し、被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

※詳しくは各社ホームページなどで確認してください。

③ 風水害に備える

水害

川西市内には、南北に流れる猪名川をはじめ、１級河川及び普通河川など２３河川があります。集中豪雨や台風など非常に激しい雨が降ると、河川水位が急激に上昇し、洪水の危険性があります。

外水氾濫
増水した河川から水があふれ、やがて堤防が決壊し、浸水被害が発生します。

内水氾濫
河川水位上昇により、側溝や水路があふれ、浸水被害が発生します。

昭和 35 年　台風第 16 号
多田駅前

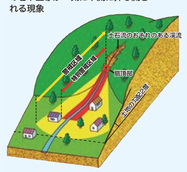
昭和 58 年　台風第 10 号
鼓滝駅付近

平成 26 年　台風第 11 号
多田院付近

土砂災害

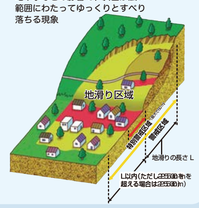
川西市内には、土砂災害が発生する危険性がある箇所として兵庫県が指定した「土砂災害警戒区域」や「土砂災害特別警戒区域」などがあります。また、指定されていない箇所でも、山間部、がけの周辺などは土砂災害発生の危険性がありますので注意が必要です。

土石流
雨や地震などの影響で、山腹、川底の石や土砂が一気に下流に押し流される現象



急傾斜地の崩壊
雨や地震などの影響で、斜面が急激に崩れ落ちる現象

地すべり
地下水などの影響で、斜面が広い範囲にわたってゆっくりとすべり落ちる現象



平成１６年　黒川地内 土石流

平成２２年　黒川地内 土石流

平成２２年　鼓が滝 がけ崩れ

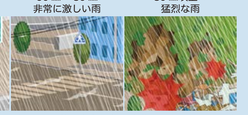
雨の危険度

雨量（一時間の雨量と降り方）　雨と風（雨と風の階級表）　気象庁提供

10 ㎜～ 20 ㎜	20 ㎜～ 30 ㎜	30 ㎜～ 50 ㎜	50 ㎜～ 80 ㎜	80 ㎜以上～
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨

ザーザーと降る。
この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。

どしゃ降り。
側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。

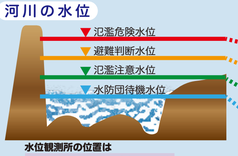

バケツをひっくり返したように降る。
山崩れ・がけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難の準備が必要。下水管から雨水があふれる。

滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）地下室や地下街に雨水が流れ込み、マンホールから水が噴出する。土石流など、多くの災害が発生する。

息苦しくなるような圧迫感がある。
雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

雨量観測所の位置は　川西市防災マップ（地図面）　をチェック！

河川の水位



水位観測所の位置は　川西市防災マップ（地図面）　をチェック！

水　位		主な水位観測所 多田院	小戸
氾濫危険水位	河川が氾濫するおそれのある水位	7.2m	4.0m
避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位	6.1m	3.4m
氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位	5.2m	2.5m
水防団待機水位	水防団が待機する目安となる水位	4.2m	1.0m

※平成２９年４月１日運用開始

避難情報と警戒レベル

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル 5（命の危険 直ちに安全確保！）	緊急安全確保（川西市が発令） ※ 川西市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令される情報ではありません。	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。
警戒レベル 4（危険な場所から全員避難）	避難指示（川西市が発令） ※ 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令されます。	災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難先に避難しましょう。
警戒レベル 3（危険な場所から高齢者等は避難）	高齢者等避難（川西市が発令）	避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル 2	洪水注意報 大雨注意報等（気象庁が発表）	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル 1	早期注意情報（気象庁が発表）	災害への心構えを高めましょう。

高　危険度　低

【警戒レベル相当情報（例）】
（国土交通省、気象庁、兵庫県が発表）

警戒レベル５相当情報
氾濫発生情報
大雨特別警報　等

警戒レベル４相当情報
氾濫危険情報
土砂災害警戒情報　等

警戒レベル３相当情報
氾濫警戒情報
洪水警報　等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるための参考とする情報です。

情報入手方法は　1 をチェック！

警報等が発表されても、警戒レベル・避難情報が発令されるとは限りません。警戒レベル・避難情報は、気象状況や市内の被害状況等を総合的に判断して市が発令します。

④ 日頃の備え　非常持ち出し品、備蓄品を準備しよう！

チェックリスト

非常持ち出し品
・自分や家族の状況に合わせ必要なものを準備
・男性 15 kg、女性 10 kg を目安に準備

携帯ラジオ
□ ラジオ
□ 電池（多めに用意）

救急医療品
□ 常備薬　□ 絆創膏
□ 傷薬　□ 包帯
□ マスク
□ 体温計

貴重品
□ 現金　□ 預金通帳
□ 印鑑　□ 免許証
□ 健康保険証　□ 権利証書

懐中電灯
□ 懐中電灯（できれば一人にひとつ）
□ 電池（多めに用意）

非常食品等
火を通さないで食べられるもの

□ 非常用食品
□ 缶詰
□ 缶切り
□ 紙皿
□ 水筒
□ ミネラルウォーター
□ 栓抜き
□ 紙コップ
□ はし・スプーン・フォーク

その他

□ 衣類（下着・上着など）
□ 生理用品
□ 離乳食
□ ウェットティッシュ
□ ヘルメット
□ ラップフィルム（止血や食器にかぶせて使う）
□ 防災マップ（本書）
□ タオル
□ 粉ミルク・ほ乳ビン
□ 紙おむつ
□ カッパ・雨具
□ ライター
□ 携帯電話の充電器
□ 家族の写真（はぐれた時の確認用）
□ 上ばき

非常時用備蓄品　・食料品は最低３日分、巨大地震に備え７日分を備蓄
・水は１人１日３リットルを目安に備蓄

飲料水

□ ペットボトルや缶入りのミネラルウォーター
□ 貯水したポリタンク等

非常食品

□ お米（缶詰・レトルト・アルファ化米）
□ 缶詰・レトルト食品
□ 梅干し・調味料など
□ ドライフーズ・チョコレート・あめ（菓子類）

燃料

□ 卓上コンロ
□ ガスボンベ
□ 固形燃料

その他

□ 生活用水（風呂・洗濯機などに貯水）
□ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
□ 調理器具（なべやかん等）
□ バケツ・各種アウトドア用品

ローリングストック法
定期的に（１ヶ月に１～２度）備蓄品を食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法。食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱えます。

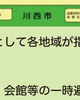
家庭でできる防災・減災対策

家具等の転倒防止対策

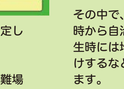
家具の転倒、落下防止のため金具などで固定。

飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止。

重たい荷物は高いところに置かず、床に置く。

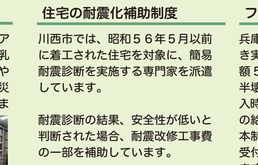


出入り口付近には背の高い家具や荷物を置かず、避難口を確保。



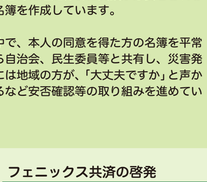
住宅の耐震化

家屋の倒壊等により周囲の安全に支障をきたす場合があります。
新耐震基準が導入された昭和５６年以前に建築された建物は特に注意が必要です。
建物を所有する人は、耐震化を進めましょう。



家庭でできる水防対策

ごみ袋を用いた簡易水のう



止水板

⑤ 川西市の防災・減災に対する取り組み　詳しくは、川西市ホームページをチェック！

地域防災力の向上

自主防災組織

自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、災害時に地域住民がお互いに助け合い、被害を軽減するために概ね小学校区ごとに結成されている組織です。
川西市内に住んでいる皆さんは自主防災組織の一員です。
平常時は、自主防災訓練や地域の防災啓発イベント等に取り組んでいますので、是非参加してください。

まちづくり出前講座

地震や風水害等への防災・減災対策を、市職員等がわかりやすく解説し、災害への備えを学ぶことができます。

防災リーダーの育成

防災リーダー（防災士）の育成・活動を支援しています。

災害対応力の向上

川西市水防訓練

洪水や集中豪雨に備え、消防団等と連携し、毎年出水期前に水防訓練を実施しています。

川西市防災訓練

災害の発生に備えるため、自主防災組織や関係機関と連携し、毎年防災訓練を実施しています。

安否確認・避難

一時避難場所標識の交付

夜間・休日等に地震が発生した際は、避難所開設までに時間がかかる可能性があります。そこで、避難所が開設するまでの間、一時的に避難する場所を一時（いっとき）避難場所として各地域が指定しています。

市では、各地域が指定した公園・会館等の一時避難場所に掲示する標識を交付しています。

避難行動要支援者支援の取り組み

災害対策基本法に基づき、高齢者、障がい者など災害時に避難行動に支援が必要とされる方の名簿を作成しています。

その中で、本人の同意を得た方の名簿を平常時から自治会、民生委員等と共有し、災害発生時には地域の方が、「大丈夫ですか」と声かけするなど安否確認等の取り組みを進めています。

事前に備える

物資の備蓄

長期間保存可能な食糧（アルファ化米、乾パン、乳幼児用の粉ミルク等）や毛布、簡易トイレ、防災資機材等を備蓄しています。

住宅の耐震化補助制度

川西市では、昭和５６年５月以前に着工された住宅を対象に、簡易耐震診断を実施する専門家を派遣しています。

耐震診断の結果、安全性が低いと判断された場合、耐震改修工事費の一部を補助しています。

フェニックス共済の啓発

兵庫県が条例に基づき実施している、年額 5,000 円で全壊・半壊住宅の再建・購入時に最大 600 万円の給付を受けられる本制度の啓発・出前受付等に協力しています。